

全共鹿児島大会出場者決定!!

種牛の部第6区 総合評価群

かみべつ まき
上別府 槇 さん
(串良町上小原)

今大会ではコロナ対策により審査同行者が出品牛1頭につき5人までという制限があり、畜産関係団体からこの枠を何人か譲ってほしいとの相談がありました。とても悩みましたが、それによって今後、肝属の畜産が発展するならばと了承。牛と真剣に向き合い一生懸命世話を続けてきた従業員たちが同行できないのは心苦しいですが、裏方として頑張りたいと笑顔で答えてくれました。大会まで気を抜くことなく、みんなで頑張ります。



かみべつ まき
上別府 将 さん (写真左) と従業員の皆さん
写真手前が「ひでこ」、奥側が「いつみ92」

県内の予選を勝ち抜いた全186頭から、県代表牛として24頭を決める「全共鹿児島県予選会」が8月28・29日に行われ、鹿屋地区1頭、輝北地区4頭、串良地区4頭の合計9頭(6農家)が選ばれました。これを受けて市では、9月22日に市役所で出品者への激励会を実施。このページでは出場者の全共出品への喜びと意気込みを紹介します。

あおき しゅんすけ
青木 春佑 さん
(串良町上小原)

種牛の部第2区 若雌の1

就農14年目で、全共へは3回目の出品となります。今大会では組出品ではなく初めての単品の区なので、県代表に選ばれたときは喜びのあまり涙があふれてきました。技術員や指導員の方々の助言をいただきながら改善を重ねる日々です。牛の姿形が評価される種牛の部なので、毎日シャンプーやリンスなどの手入れを怠らず、本番まで毎週行われる集合指導会で「前よりも良くなったね」と言われるように努力して全共に臨みます。



「たかこ1」と青木春佑さん



新地さんの出品牛「速子1154」

しんち まさきよ
新地 正清 さん
(大浦町)

肉牛の部第6区 総合評価群肉牛

前回の宮城全共では県代表になれず、全共出品が叶わなかったため、地元で開催される今大会に出場できることは家族みんな心から喜んでいました。また、牛の導入から飼養管理にご指導・ご協力いただいた関係機関や団体の方々に感謝しています。本番では県の代表として上位入賞を目指し、チーム鹿児島に貢献できるよう頑張ります。

種牛の部第3区 若雌の2

もり
株式会社 森ファーム
(輝北町上百引)

今回の出品牛は子牛の頃から良い牛だったため、その良さを伸ばしつつ欠点を補う育成を行いました。全共や県予選だけでなく、各予選会全てにベストな状態で挑めるよう調整を行っています。輝北町は地区が一丸となって畜産振興に取り組んでおり、畜産にける強い思いが結果に結びついたのでと思います。地元である鹿児島で開催される今大会。代表に選ばれたからには、出場に満足することなく日本一を獲れるよう頑張ります。



「はるこ」を囲む
もりよしゆき
森義之 さん (写真右) と従業員の皆さん

肉牛の部第8区 去勢肥育牛

有限会社 うしの中山
(串良町有里)

鹿児島県予選会場からの帰りの車内では鹿児島全共出場決定の喜びを実感すると同時に、県代表としての責任を感じたことが印象に残っています。特に牛の体調管理には細かく気を配っており、機械だけでなく人の目での管理も怠りません。生産農家さんから受け継いだ牛をおいしい牛肉にすることが肥育農家の仕事。日本一を取ることが、これまで携わってきた方々への恩返しになると思っているので、最後まで精一杯取り組みます。



みなみさこ
「南迫」を囲む
なかやまたかし
中山高司 さん (写真右) と従業員の皆さん

鹿屋農業高校は、残念ながら今回の全共鹿児島大会への出場を逃してしまいましたが、今後様々な大会等に向けて日々努力していきます。



ありま しょうたろう
有馬翔太郎 さん
(畜産科3年)

みやぞの はるお
宮園 春雄 さん
(輝北町市成)

種牛の部第5区 高等登録群

県予選ではドキドキしながら発表を待っていました。自分の番号が呼ばれたときは自然と涙が出てくるほどうれしかったです。良い牛に巡り合い、いつものように手塩をかけて育ててきました。夫婦2人での畜産は大変ですが、地域の皆さんが協力・応援してくれるからこそ頑張ることができており、感謝しています。牛を育てて62年経ちますが、その集大成とも言える牛たちです。出場するからには上位入賞を目指して頑張ります。



宮園さん夫妻 (写真手前) と農協技術員、人工授精師の方々
写真左側から「こづる」「なつみ」「さくら」の3頭

鼻紋

一人ひとり違う私たちの指紋。牛でこれに該当するのが、鼻のシワである「鼻紋」です。子牛登録証明書(血統書)にはこの模様が印刷されており、このシワは成長しても変わることはないため、個体の識別に役立っています。

ほかぞの りゅうと
外園龍斗 さん
(畜産科3年)



つまが しょう輝
津曲瑠輝 さん
(畜産科1年)

牛の前歯

牛の食事で特徴的なのが長い舌を使って草を口に運ぶ動作。実は牛の前歯は下あごにしか生えておらず、エサをかみちぎることができないため舌を器用に使って食事をします。ちなみに牛の歯は上あごに12本、下あごに20本の計32本あります。